

事業名：「経営基盤強化プラン」

団体名：公益財団法人全日本空手道連盟

事業実施の背景・課題、目標

背景：

- ・外部環境の変化（①Paris五輪+LA五輪から除外 ②少子高齢化 ③サポート減）
- ・連盟として事業収益力強化が必要となり「経営基盤強化プラン」を作成・促進するキッカケとなった。

課題：

- ・解決の優先順位
- ・連盟内の共有（根回し）

目標：

本連盟はこの3年間、「挑戦→飛躍→地固め」と中長期的な成長を遂げている中、来年度は各事業の持続性を高め、職員や関係者が「誇りに思える連盟」の姿を実現し、その他スポーツ団体の良きモデルになる事を目指している。

本事業における具体的な取組内容

計画№1 空手CX強化学業（CX：カスタマーリレーション）

実施期間：令和4年～令和6年

取組内容：

- ①“一気通貫プロジェクト”：YouTube配信（小～社）
- ②生配信視聴者会：HUBでのイベント

計画№2 空手DX強化学業

実施期間：令和4年～令和6年

取組内容：

- ①Karate Stats
- ②オンライン形模擬システムの開発

計画№3 Karate Week事業（旧：体重別選手権大会事業）

実施期間：令和4年～令和6年

取組内容：

- ①Karate Week大会運営の効率化（4大会集約）

計画№4 第2回全日本空手道団体形選手権大会

実施期間：令和4年～令和6年

取組内容：

- ①大会の開催（ターゲットに合わせた競技の発信）

計画№5 マネジメント人材の活用

実施期間：令和5年～令和6年

取組内容：

- ①事業強化の為の外部人材・外部経験者の採用

令和5年度の取組内容

計画№1 空手CX強化事業

目標：空手界にとって必要不可欠な媒体になり、将来の会員価値向上に繋げる。

取り組み内容：

- ①10大会のLIVE配信、“決勝戦”、“バズった試合”シリーズを配信（年約270本）。
- ②サブチャンネル（Karate World TV）との連携強化（過去動画シリーズ）
- ③Viewing Event@HUBは1回行った。
- ④競技解説者育成（LIVE配信時に解説）
- ⑤会報誌の番組版（Nice Karate Life TV）の配信を始めた。＊別予算



令和5年度の取組の進捗・成果・課題

【令和5年度の進捗・成果】

- ①視聴回数：529万回、登録者数：1.41万人増（28.5%増）、広告収入：120万円（10%増）
＊配信のない日でも自然増で一日平均20人のCh登録者増あり

- ②メインchannel（ライブ配信＋シリーズ系＋基本動画＋情報発信）
サブchannel（過去の大会＋レジェンド＋その他空手関係の大会）（登録者数計12.6万人突破）

- ③1回完了。参加者を集められず失敗。計画を変更し残りの1回をキャンセルしその他事業に注力した

- ④実況中継2回完了（全日本個人戦、全日本体重別）

- ⑤Nice Karate Life TVの配信完了

【令和5年度に生じた課題】

- HUBのイベントが不発であった。
- 理由としては管理者の能力不足であった。

Nice KARATE LIFE ナイスカラテライフ

ナイスカラテライフ | 日本代表・森 優太選手インタビュー企画

トランスジェンダーでフェンシング元女子日本代表 杉山文野さんにお話を伺いました

合格者 徳島県 永沼圭一(宮城県) 中村勝(石川県) 片倉徹(山形県)

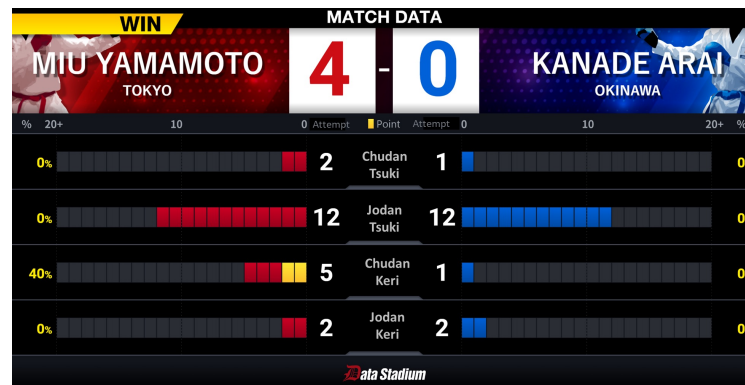
令和5年度の取組内容

計画№2 空手DX強化事業

目標：空手界に適したレベル感でDXを駆使して競技を身近に感じてもらう

取り組み内容：

- ①Karate Statsの国際大会仕様の開発
- ② オンライン形模擬システムの開発



令和5年度の取組の進捗・成果・課題

【令和5年度の進捗・成果】

①Karate Stats

昨年度：開発完了→国内大会導入

本年度：国際大会（IF主催）へ試験的導入＋国内大会への継続導入＋データの収集

②オンライン形模擬システム

昨年度：テストイベントを手動で行った。

本年度：システム開発完了→“オンライン形模擬チャレンジ”（1/29開始）

【令和5年度に生じた課題】

①表示データの精査（適度な情報量を表示）

②システム開発業者の担当者が退職されたため、開発が予定より遅れた。



- 1.採点を申し込む**
カタモギサイトより参加料をお支払いし、お申し込みください。
- 2.動画を撮影する**
人物が画面からはみ出したり、小さくなりすぎないように撮影をします。
- 3.動画を提出する**
カタモギサイトより動画をアップロードします。
- 4.結果を見る**
カタモギサイトに掲載されます。
※あなたの結果と動画は他の参加者にはみられません。

令和5年度の取組内容

計画No3 Karate Week事業

目標：少子高齢化の未来でも持続可能な大会形式を見つけ出す。

取り組み内容：

①Karate Week（4大会の統合）

- ・全日本少年少女空手道選手権大会
- ・全国中学生空手道選手権大会
- ・全日本パラ空手道競技大会
- ・全日本空手道体重別選手権大会

②地域に愛される大会を意識して地元商店街や学校への貢献をした



令和5年度の取組の進捗・成果・課題

【令和5年度の進捗・成果】

①8月3日～9日に開催（足立区、綾瀬）

- ・入場者数：12,000人（合計）
- ・出場選手数：3,865名
- ・出店者数：13社（昨年度：5社）
- ・収支改善：自己負担金155万円（昨年度4大会合計248万円）
- ・SDG'sへの取組みとして本大会がTBSにて2回放映される

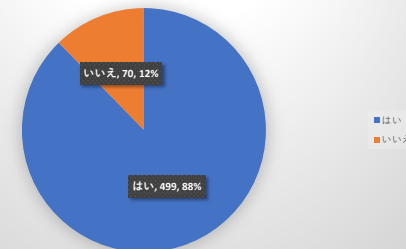
<アンケート結果>（対象者：大会スタッフ、審判、出展業者、出場選手）合計569人

- ・「（全空連）の運営側トップは変わろうとしている」という感想をもった
- ・協力する者たちから直接の意見を聞き入れようとする姿勢についても感謝
- ・いろいろな取組みで、革新に向かっていると思う
- ・平日開催で仕事の関係上参加しづらい（係員・審判）

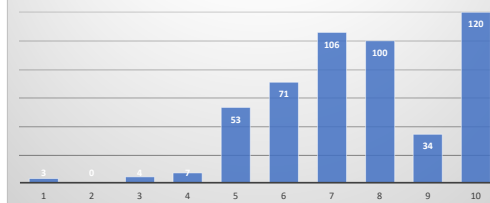
【令和5年度に生じた課題】

- ・大会期間が長かった為、スタッフの疲労が大会の後長く続いた。
- ・来年は7日間→5日間へ短縮
- ・お弁当にはお金をかけるべきであった

全空連は変わってきていると思いますか？



「変わってきた」のはどのように変わってきたと思いますか？



令和5年度の取組内容

計画№4 第2回全日本空手道団体形選手権大会

目標：競技者以外の視聴者に楽しんでもらえる空手大会の開催を行う～「招致される大会」を目指す～

取り組み内容：

- ①大会予選は1月20日～21日に日本空手道会館にて開催
- ②大会決勝は2月24日、東京アメリカンクラブにて開催

令和5年度の取組の進捗・成果・課題

【令和5年度の進捗・成果】

①予選、1月20～21日（江東区、辰巳）

- ・ 入場者数：230名＋出場選手数：180名
- ・ 予選収入：240万円（チケット売上、売店、出場料）

②決勝、2月24日（港区、麻布）

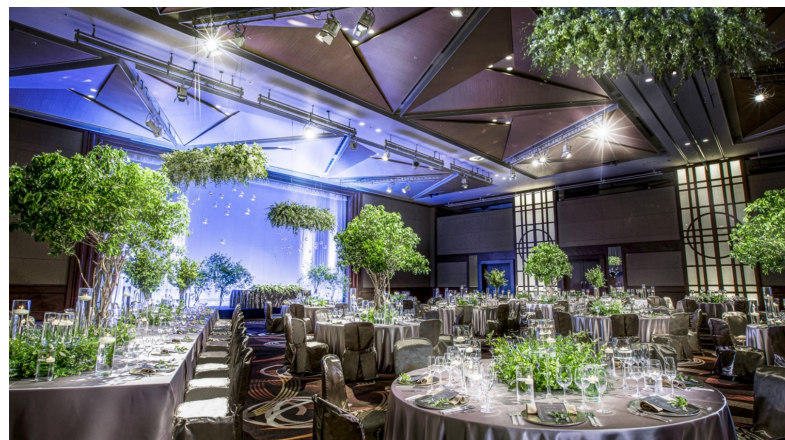
- ・ チケット販売：（完売、キャンセル待ち）
- ・ 決勝収入：180万円（見込み）

< 決勝戦内容 >

- ・ 東京五輪金メダリスト（喜友名氏）による講習
- ・ 女子団体形決勝（審判団＋喜友名氏からのLIVEコメントあり）
- ・ 男子団体形決勝（審判団＋喜友名氏からのLIVEコメントあり）
- ・ 盆石の展示（日本の伝統文化）
- ・ 喜友名氏による演武
- ・ デイナー4品付き

【令和5年度に生じた課題】

- ・ 大会収支が課題
- ・ スポンサー



本事業の成果目標・KPIの達成状況

成果目標・KPI 事業1 空手CX強化事業

目標：登録者数 6万人（サブChannel 6.3万人）

令和5年度：6.37万人（サブChannel 6.32万人）

目標：視聴回数 400万回

令和5年度：540万回（1月末時点）

目標：HUBビューイング会2回実施

令和5年度：一回のみ開催

成果目標・KPI 事業2 空手DX強化事業

目標：IF主催大会への導入

令和5年度：プレミアリーグ福岡大会にて達成

成果目標・KPI 事業3 Karate Week事業

目標：大会収支の改善（増収、費用減）

令和5年度：自己負担金（37.5%減）

成果目標・KPI 事業4 第2回空手道団体形選手権大会

目標：チケット完売率80%+新スポンサー2社

令和5年度：チケット完売達成+新スポンサー0社

成果目標・KPI 事業5 マネジメント人材の活用事業

目標：継続雇用率100%

令和5年度：100%維持

令和6年度の実施予定

【令和6年度の実施内容】

目標：職員や関係者が「誇りに思える連盟」の姿を実現し、その他スポーツ団体の良きモデルになる事を目指す。

事業：

- ①空手CX強化事業（10大会配信、200本の動画投稿+Karate Statsのデータを活用したコラム発信）
- ②空手DX強化事業（形模擬チャレンジを2回開催。事業化を目指す）
- ③Karate Week事業（収支の更なる改善、並びにその他大会統合へ向けての研究を行う）
- ④マネジメント人材の活用事業（継続雇用100%+1名追加で外部人材を雇用）

～その他～

- ①文化委員会の発足（国内にいる国際人材の発掘、国内外国人）
- ②小学生のオープン大会の検討（裾野を広げる取り組み）
- ③ユースキャンプの検討（中学・高校生がターゲット）など

【令和6年度の改善策】

- ①HUB企画廃止、YouTubeを会員価値向上へ結びつける→会費増に繋げる
- ②視聴者に対して収集したデータの更なる活用→コラム
- ③その他、大会事業への横展開を行う→全ての主催大会を見直しKarate Weekでの経験を反映する